

人と地球に優しい住環境を創ることで社会に貢献

AQUA REPORT

第21期

2024年12月期 中間
(証券コード:1429)



キーワード
で見る
日本アクア

現場発泡断熱材
アクアフォーム
No.1
シェア

上場来年
平均成長率
11.2%
2013年度から
2023年度まで

0
地球に優しい断熱材
フロンガスゼロ

原料開発から、
現場施工、リサイクルまで、
一貫した品質管理
日本で唯一の
ビジネスモデル

※地球温暖化防止への取り組みとしてウレタン発泡材にHFOを一早く採用、地球温暖化ガスであるフロンガスは使用していません。

●●● AQUA の技術 ●●●



アクアフォーム紹介ページ



アクアフォームのムービー



アクアフォーム NEO 紹介ページ



アクアモエン NEO 紹介ページ

日本アクアを支える「アクアフォーム」は、温室効果の大きいフロンガスを使わず、水を使って現場で発泡させる断熱材です。水を含むポリオールとイソシアネートを混合することで発生する炭酸ガスを発泡剤として使用する、人と地球に優しい硬質ウレタンフォーム素材となっております。

詳細はホームページでご確認ください。
<https://www.n-aqua.jp/products/aquaform/>
スマートフォンでもご覧いただけます。



AQUAの製品をご紹介します



アクアフォームLITE
植物由来原料を配合
現場発泡断熱材



アクアフォーム
木造戸建の高気密断熱材



アクアフォームNEO
環境性能と熱伝導率を両立



アクアフォームNEO+TP
防蟻処理済みアクアフォーム



アクアブロー
アクアフォームリサイクル製品



アクアモエンNEO
断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム



アクアバリア
吹付防火コート



冷凍冷蔵倉庫用 AQ700
断熱性、耐水性、耐薬品性



アクアハジクン
建築物吹付け防水システム



アクアエアースリールズ
屋根用通気・遮熱



アクアスルーシリーズ
棟換気・軒換気



アクアウォールシリーズ
外壁の遮熱・防水



アクアパッキン
木造戸建基礎用気密パッキン



**アクアフォーム1液性
ハンドタイプ**
あらゆる断熱施工の補助製品



アクアタイトシリーズ
床根太・床仕上げ接着剤



アクアショット
簡易型2液混合スプレーシステム

TOPIC

「気密測定サービスへの関心が高まる」

省エネ住宅の実現には、高断熱と高気密の両方が必要です。

高断熱とは、外気の影響を受けにくくするために、建物の壁、屋根、床、窓などを断熱材で覆い熱の出入りを最小限に抑えることを指します。

一方、高気密とは、建物の隙間を極力なくし空気の漏れを防ぐことです。隙間が多いと、断熱された家でも外気が入り込み室内の空気が逃げてしまい、断熱性能が十分に発揮されません。その結果、冷暖房効率が低下しエネルギーを余分に消費することになります。高断熱と高気密を両立させることで、建物内の温度変動を抑え、エネルギー消費を最小限にしつつ、快適な環境を維持できます。

当社では、高断熱と高気密を同時に実現するアクアフォームシリーズの強みを訴求するため、気密測定サービスを提供してまいりました。昨今、住宅の高気密性能への関心が高まっており、このサービスの受注が拡大しています。全国展開する大手ビルダー様が標準採用を決定するなど、今後もさらなる需要の拡大が期待されます。当社は国内最多の気密測定器を保有しており、この分野で市場を創造し、さらなるイノベーションを推進してまいります。



「市場環境は良好、施工体制の拡充を背景にシェア向上へ」

株主のみなさまには、平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申しあげます。

今年度からスタートした3か年の中期経営計画「3 Pillars of Stability (安定した3本柱)」に基づき、当社は戸建部門での差別化戦略を推進しつつ、市場の拡大が著しい建築物部門や、今後の成長が期待される防水施工部門に対して経営資源を徐々に強化しています。これにより、さらなる成長を目指しております。

当中間会計期間（2024年1月1日から2024年6月30日まで）の経営成績については、下記の決算ハイライトに記載のとおり、売上高は前年同期比で0.3%減少し、経常利益は同じく38.0%減少となりましたが、当社の経営戦略は市場環境に合致しており、この結果は一時的な「タイムラグ」によるものであると考えております。

株主のみなさまには、引き続き変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、お願い申しあげます。



代表取締役社長 中村 文隆

タイムラグ1 戸建部門における上位等級の広がり当社予想に比べて緩やか

省エネ住宅の実現には、断熱等性能等級5（ZEH水準）の達成だけでは不十分で、さらなる上位等級および高気密性能の確保が重要であるという考えが広まっています。これらに対応するため、当社は準備を進めてまいりましたが、期初の予想に反して、実際の拡大は下半期以降になる見込みであり、上半期は緩やかな伸長にとどまりました。

タイムラグ2 他社の建設資材不足等による建築物部門の売上計上の遅延

建設業界では、2024年4月から時間外労働の上限規制などを含む働き方改革（いわゆる「建設業の2024年問題」）が始まりました。当社は2023年から前倒しで対応してきましたが、他社ではこの影響で建設資材不足や人手不足が発生し、当社の工事が遅延する事態となりました。この結果、建築物部門での売上計上が下期にずれ込む案件が出ています。しかし、第3四半期以降は急ピッチで工事が進行しており、上半期の遅れをリカバーしてまいります。

決算ハイライト

売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
13,112百万円 (前年同期比 0.3%減)	849百万円 (前年同期比 38.5%減)	868百万円 (前年同期比 38.0%減)	579百万円 (前年同期比 38.8%減)

中期経営計画「3 Pillars of Stability (安定した3本柱)」

2024年2月14日に、2024年度から2026年度までの中期経営計画を発表しました。

本計画の骨子は、当社の事業の中核をなす施工販売において、防水部門の早期黒字化と認知度向上を背景に事業規模を拡大し、戸建部門および建築物部門と並ぶ3本柱として確立することです。また、商品販売などの強化を進めることで、事業領域のさらなる拡大を目指します。

さらに、当社の持続的な成長を通じてステークホルダーへの利益配分を行い、株主のみなさまには、配当性向目標50%を基準とした配当による還元を実施してまいります。

(単位：百万円)

	第20期 2023年度 12月期 実績	第21期 2024年度 12月期	第22期 2025年度 12月期	第23期 2026年度 12月期	年平均成長率
売上高	28,341	31,005	35,632	41,021	+13.1%
戸建部門	13,798	14,408	15,367	16,503	+6.1%
建築物部門	8,267	10,394	12,510	15,119	+22.3%
防水部門	489	695	1,500	2,500	+72.2%
原料販売	1,916	2,235	2,578	2,964	+15.7%
その他部門	3,869	3,271	3,677	3,935	+0.6%
営業利益	2,881	3,100	3,741	4,512	+16.1%
経常利益	2,917	3,100	3,741	4,512	+15.6%
当期純利益	2,004	2,092	2,525	3,045	+15.0%
1株当配当金(円)	32.0	34.0	40.0	49.0	+15.3%

会社概要

商号 株式会社日本アクア
英文社名 Nippon Aqua Co.,Ltd
代表取締役 中村 文隆
本社 〒108-0075
東京都港区港南2-16-2 太陽生命品川ビル20F
TEL: 03-5463-1117 FAX: 03-5463-1118
設立年月日 2004年11月29日
資本金 19億3百万円
事業内容 建築断熱用硬質ウレタンフォーム「アクアフォーム」販売・施工
住宅省エネルギー関連部材の開発・製造・販売
従業員数 592人(単体)

役員 (2023年6月30日)

代表取締役 中村 文隆
専務取締役 村上 友香
取締役 永田 和久
取締役 藤井 豪二
取締役 宇佐美 計史
社外取締役 高橋 義昭
社外取締役 劔持 健
社外取締役 玉神 順一(常勤監査等委員)
社外取締役 杉田 由貴(監査等委員)
社外取締役 樋口 尚文(監査等委員)
社外取締役 仁科 秀隆(監査等委員)

ホームページ・SNSのご紹介

ホームページ

<https://www.n-aqua.jp>

または、
スマートフォンからもご確認いただけます。



日本アクア公式YouTubeチャンネル

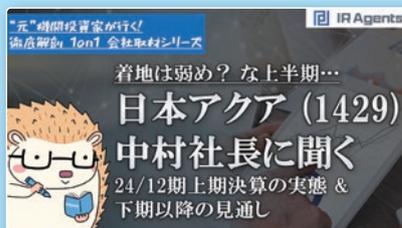
<https://www.youtube.com/channel/UCmkhVT7y6HhF36F2ZeQ9GuA>

または、



日本アクア公式 YouTube チャンネル

日本アクアが運営する公式チャンネルです。
主力製品の「アクアフォーム」を中心に事業紹介、メディア情報、IR関連情報をお届けしています。



IR Agents 関本代表との対談動画



就活生向け若手社員による対談動画

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで

基準日 毎年12月31日

定時株主総会 毎事業年度終了後3か月以内

単元株式数 100株

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
TEL.0120-232-711(通話料無料)

郵送先

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

公告方法

当会社の公告は、電子公告により行います。

<https://www.n-aqua.jp>

但し、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。



NIPPON
AQUA

株式会社 日本アクア <https://www.n-aqua.jp>